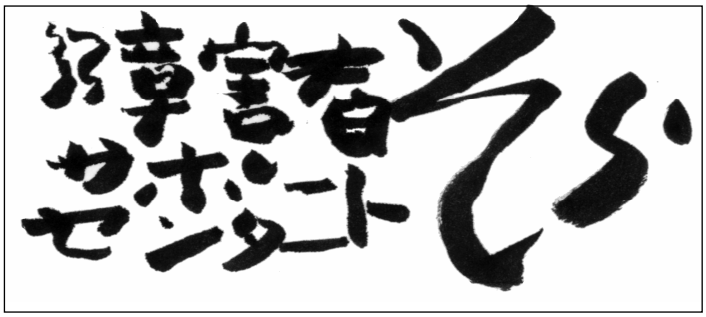
第３種郵便物認可平成 26 年 12 月 2 日(火) 増刊(毎週火曜日)

ＡＪＵ　ほっとはあと



機関誌　第 164 号

平成 26 年 12 月 2 日(火)増刊（毎週火曜日）
第 11611 号
昭和 54 年 8 月 1 日第三種郵便物認可
編集・発行
特定非営利活動法人
清水障害者サポートセンター　そら
静岡市清水区庵原町 219-18
TEL 054-366-8000　FAX 054-366-7780

12 月のごあいさつ

清水障害者サポートセンターそら
理事長　　山本　忠広

いよいよ本格的な冬がやってきました。皆さんは体調を崩されていませんか？

さて、当法人事務所では、11月半ばから薪ストーブに火を入れ始めました。細い薪、太い薪を重ね着火剤へ点火。最初は火がうまくつかず、煙がモコモコ･･･。火災報知機が鳴らないかちょっと心配しながら燃やし続けたら、勢いよく燃え始めたので一安心。それからほぼ毎日、薪を燃やして楽しんでいます。

ゆらゆらと燃える炎を見ていると気持ちが落ち着き、体に伝わる暖かさも格別です。一度ストーブに近づくとなかなか離れられなくなってしまいます。

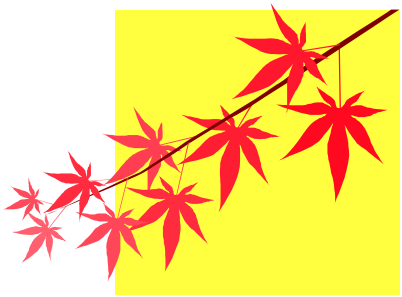
このストーブは二段になっていて、上段に薪を入れて火を楽しみ、下段はオーブンになっているので、さつまいもを焼いて焼き芋にしたり、パンを焼いたりして楽しんでいます。

皆さんも寒い時期に、体を暖めに事務所へ遊びにきてください。きっと離れたくなくなりますよ。

発行所　東海身体障害者団体定期刊行物協会　名古屋市中区丸の内三―六―四三　みこころセンター四Ｆ　定価五〇円

第三種郵便物認可　平成 26 年 12 月 2 日（火）増刊（毎週火曜日）
第 11611 号　AJU　ほっとはあと

＜介護サービスそら　＞



日増しに寒さも厳しくなって参りましたが、皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか？

１１月２２日中央特別支援学校にて今年も大輪祭が行われ、今年は子供を連れて家族でお祭りを見学させて頂きました。

会場にはたくさんの人が集まっていてどの部屋も人でいっぱいでした。

小学部の生徒さんたちがやっていた、浅草をテーマにしたお部屋では、雷門やおみくじや香炉などのコーナーがあり、来場した人たちを元気いっぱいにおもてなしをしていました。

最後に見た体育館のステージでは、高等部の生徒さん達が家族の方への感謝のメッセージを

緊張しながらも思い思いの言葉で一生懸命に伝え、全員で歌を歌い、とても感動的なステージを見せてくださいました。

全ての場所を見る事は出来ませんでしたが、どの学年の生徒さんたちもそれぞれ工夫を凝らした出し物を披露していて、とても楽しい時間を過ごさせて頂きました。

＜１２月のヘルパーつどい＞

１２月のつどいはお休みとさせて頂きます。

第三種郵便物認可　平成 26 年 12 月 2 日（火）増刊（毎週火曜日）
第 11611 号　AJU　ほっとはあと

＜生活介護そら＞

寒さが厳しくなってきましたね。皆様いかがお過ごしでしょうか。
街中ではクリスマスのイルミネーションが綺麗に飾られ、街路樹は色づき寒さを忘れさせてくれるような景色を楽しませてくれています。

さて、生活介護では 11月、三保からの富士山を眺めながら、ベイドリームへと買物に出掛けてきました。天気にも恵まれ、最高のお出掛け日和となりました。

※車窓からでしたが、富士山が素晴らしかったです。写真ではお伝えできないのが残念‥。

・・・調理実習もしました！！・・・

ほかほか
いいかおり

できあがったパンケーキにあずき、生クリームを入れ・・・
生どら焼風に！

お好みに合わせシロップやバターを乗せて・・・

第三種郵便物認可　平成 26 年 12 月 2 日（火）増刊（毎週火曜日）
第 11611 号　AJU　ほっとはあと

♪どれみ♪

寒くなってきましたね～。今月のどれみでの様子を一部紹介したいと思います！

【そら多目的室でＷｉｉをやって遊びました】

【くら寿司でランチ】

【サイゼリアでランチ】

【みんなで宿題】

【物干しのお手伝い】

【洗濯物たたみのお手伝い】

【布をビリビリ破いて】

【素敵なリースの出来上がり】

管理者　井川　恵介

第三種郵便物認可　平成 26 年 12 月 2 日（火）増刊（毎週火曜日）
第 11611 号　AJU　ほっとはあと

ホットハート介護サービス

11月の研修会の報告

「生活介護そら」で研修会を行いました。
テーマは、「感染症・緊急時、災害時の対応」。

★『感染症』について、生活介護そらの八木看護師に研修していただきました。
標準予防策は「スタンダード・プリコーション」。　すべての血液、体液、分泌物、排泄物、傷のある皮膚、粘膜などは感染する危険性があるものとして取り扱わなければならない。

【感染防止の基本】

① かからない→まず自身の健康管理が必要です。規則正しい生活をして、体調に不安がある場合は早めに受診しましょう。

② 持ち込まない→ひとつのケアごと、前後に行う「１ケア１手洗い」を徹底しましょう。

③ 広げない→発病者の早期発見が必要です。利用者さんの様子がいつもと違うと感じることが出来るのは、訪問ヘルパーです。感染症ごとの適切な対応も広げないためには重要です。これからの季節に流行するノロウイルスや、インフルエンザについての知識も頭に入れておきましょう。

＊実技として、手洗いの方法、防護品のつけ方、はずし方を習いました。
・手洗い→正しい方法で徹底して行い、風邪を予防しましょう。
・マスク→はずす時は、あごについた病原菌がマスクについてしまうので、耳にかけた紐を持ち、あごにかけないようにしましょう。

★『災害時・緊急時の対応』について。
このところ、大型台風、地震など自然災害が多発しています。ご利用者様が、災害時に避難所まで避難を希望しているか、ご利用者様、ご家族様に再確認をしているところです。
確認後、利用者様ごとに把握して担当ヘルパーに伝える予定です。

＊１２月の研修会はお休みです。

年の瀬、今年の漢字１文字が選ばれますが、あなたにとって今年はどんな一年でしたか？
来年もよい年になりますように。今年一年ありがとうございました。

（編集担当・・・大澤　　内容のお問い合わせ・・・稲葉）

第三種郵便物認可　平成 26 年 12 月 2 日（火）増刊（毎週火曜日）
第 11611 号　AJU　ほっとはあと

居宅介護支援　　ホットハート

皆様、いつも機関誌を読んでいただき、ありがとうございます。

４月初めに庵原に引っ越してから、早いもので８ヶ月が経過しました。

１１月の中旬から、事務所入り口の薪ストーブに火が入り・・訪問から帰ってくると、じんわりと包み込むような暖かさに迎えられ、ほっこりしています（＾＾）。

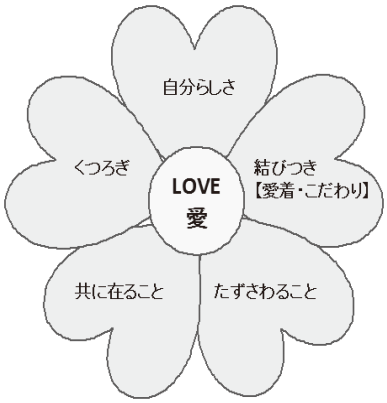
先日、ニシキギという木に出会いました。赤い実が可愛らしく、大きくなると木全体が真っ赤に紅葉し、庭に植えると、しっとり美しい存在感があります。その姿が豪華な錦の織物を思わせるので「錦木」と名付けられたそうです。

ニシキギの熟した果実は小さな卵型で、上部の赤い皮は帽子のようについて、そこが、また魅力的です！！

認知症の人を取り巻く５つの心理的ニーズ

認知症の人のＢＰＳＤ（認知症の行動・心理症状）は、時に介護している家族を疲弊させ、在宅生活の継続を困難にする原因となります。また、疾患、栄養状態、脱水、身体状況（発熱、便秘、失禁、痛みなど）、薬、生活リズム、周囲の人の関わり方や対応方法、環境への不適応などの要因が複雑に影響しあって生じます。また、その多くには本人なりの目的や理由があるとされています。ご本人の視点に立って、その状態が良い状態なのか、良くない状態なのかを検討していく事が大切です。

認知症ケアにおける大切な視点であるパーソン・センタード・ケアでは下記の図ように、認知症の人の心理的ニーズを５枚の花びらでとらえ、こうした視点に基づいて情報を収集し、ご本人の立場からその言動の意味について考えていくアプローチ方法です。



自分らしさ：１人の人間としての尊厳が守られ、本人らしい生活の仕方をすること。

結びつき：理屈ではなく、どうしようもなく好きなもの、なんとなく落ち着くもの、これでないと駄目というようなもの。

たずさわり：一方的にやってもらっているだけでは気がすまず、やれる事はしたいという気持ち。

くつろぎ：緊張なくリラックスしている状態。例えば、痛いところや気持ち悪さがなく、身体も気持ちもゆったりの状態。

共に在る：孤立したり阻害されず、社会とつながっていたい気持ち。

月間ケアマネジャー１１月号より抜粋
松下みどり

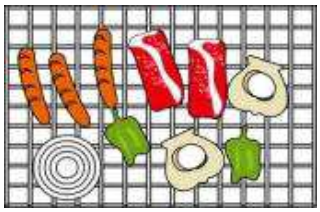
第三種郵便物認可　平成 26 年 12 月 2 日（火）増刊（毎週火曜日）
第 11611 号　AJU　ほっとはあと

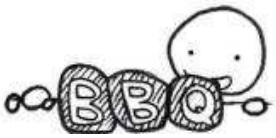
〈静岡市委託事業　障害者相談支援センター〉

去る１１月９日(日)、当事業所において、『第２回　自立生活プログラム料理編』を開催。当日は、静岡障害者自立生活センターの大勢の方々と一緒に、それぞれの目的に合わせバーベキューを中心に調理を行いました。

“自分にできることを増やそう！”と皆でメニューを決めて、買い物・・包丁を持ち野菜を切る・・焼く・・スープの味つけなど、調理に新たな発見！　また、初対面の方々との食事など、和気あいあいと話も弾み、楽しんでいただきました。

当日の朝は雨が降ってしまったため、参加人数は少なくなってしまいましたが、電車に乗って来られた仲間とともに活動し、お互い刺激を受けて、これからの生活にパワーをもらった一日となったようです。





障害福祉サービス を知ってみよう！　NO4

障害福祉サービス≪障害者総合支援法≫編のご紹介です。

前回までの“居宅介護”“重度訪問介護”は、居宅において援助するサービスでしたね。今回は、外出時において同行するサービスです。

『同行援護』と『行動援護』とは？

同行援護は、視覚に障害のある方の外出に同行し、移動に必要な情報を提供したり、移動の際に必要な援護を行うサービスです。

行動援護は、行動上著しい困難を有するなどの障害があり常時介護を必要とする方が、行動する際に生じ得る危険を回避するために、必要な援護や介護を行うサービスです。

どちらも、申請により決定された“時間数”が利用できます。

＊　詳しくは、相談担当　萩原・深澤までお問い合わせください。（　TEL:054-366-7781　）

★ 俳句の会より お知らせ ★

● 龍之介です。先月は先生に、私の俳句『いつもより手摺り冷たき冬の入り』を、『いつもより手摺り冷たき廊下かな』に直されました。先生はどんな理由で直してくださったのか、お分かりでしょうか？

● もうすぐ、お正月ですね。皆様も俳句をお作りください。

※教室は俳句会ではありません。俳句の勉強会です。先生は静岡北養護で事務員をやっていた八風先生といって、とても優しい先生です。☆よろしくお願いします！！

◆ 今月の俳句教室予定

日時：12月22日（月）13:30～15:30　　場所：はーとぴあ清水２階

講師：青柳八風先生　会費：500円　　担当者：巴川龍之介まで

お申込み・お問合せ：ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ　m.32518-32518@docomo.ne.jp

※当日、いきなり来てくれても構いません。

【編集後記】

年の瀬になりました。今年の反省は、来年の成功の礎！良いお年が迎えられますように！

＊　すべてのお問い合わせは、「清水障害者サポートセンターそら」までお願いします。

ＴＥＬ　０５４－３６６－８０００《代表》　ＦＡＸ　０５４－３６６－７７８０
ｈｔｔｐ：／／ｎ-ｓｏｒａ．ｏｒｇ
Ｅｍａｉｌ：　ｍａｉｌ@ｎ-ｓｏｒａ．ｏｒｇ

平成二十六年十二月二日（火）増刊（毎週火曜日）
ＡＪＵ通巻第一一六一一号
昭和五十四年八月一日第三種郵便認可